

グループホーム こんぴら
サンライズ こんぴら

vol.30

2013

グループホーム こんぴら

行事報告

サンライズ こんぴら

行事報告

利口げな話

特集：「へえ〜っ、そうなんだ!?
~昔の人はすごい!!~」第24回

編集後記

関連機関

こんぴら



KEIRYOKAI
produced by
医療法人圭良会

グループホームこんぴら Group Home Konpira

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個性のある介護支援を行います

～第4回日本認知症グループホーム大会参加～

平成25年10月4日・5日の2日間、岩手県で行われた日本認知症グループホーム大会に参加し、「グループホームにおけるターミナルケアの実施」をテーマに、入居者様が馴染みの環境の中で最期を迎えるための支援について発表しました。今回の取り組みで、安心して過ごせる環境を整え、馴染みのある職員や入居者様に囲まれ過ごしたことは入居者様にとって大切な時間であったと考えます。これからも入居者様の思いや状態に合ったケアができるように努めてまいります。



～遠足～

秋は待ちに待った遠足の季節です。10月6日、20日の2回に分けて、国立まんのう公園に行きました。公園内にはコスモス等たくさんの花が咲いており、入居者様は御家族様と一緒に公園内をおしゃべりしながら楽しそうに周られていました。昼食は青空のもと、みんなで美味しいお弁当を食べました。「美味しい弁当やな。」「もうなくなった。もうちょっと欲しいわ。」「風が気持ちいいな。」と言った声が聞かれ、会話が弾み、笑い声が絶えない時間となりました。この2日間は天気にも恵まれ入居者様、御家族様にとっても、とても充実した時間が過ごせたのではないかと思います。



～防火訓練～

グループホームでは年に3回避難訓練を行っています。初期消火、通報、火災時の入居者様の避難誘導の仕方等がマニュアルに添って行えているか？職員同士で確認しながら行っています。消火器の使い方毎年数回、南部消防署から訓練用の消火器を借りて、本番さながらの練習を行っています。グループホームでは、火災以外の災害に対しても全職員が素早く、的確に対応できるよう今後も訓練を重ねていきたいと思っております。

サンライズこんぴら Sunrise Konpira

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

1. 通い泊まり訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します



～遠足～

10月3日と4日の2日間で、善通寺五岳の里に遠足に行きました。天気も良く、公園内をゆっくり散策することができました。「たまには外で食べるのもええな」と、いろいろな話をしながらお弁当をいただきました。秋風や日差しが心地よく、久しぶりの遠足を満喫することができました。今後も季節ごとに利用者様に楽しんでいただける行事を企画していきたいと思えます。



～地域運営推進会議～

サンライズでは年に6回地域運営推進会議を実施しています。サンライズでの様子を知っていただくために、地域の方や役場の担当者に来ていただいています。9月の会議では、消防署の職員の方にも参加していただき、避難訓練を行いました。地震が起きた時を想定して、最初は机の下に隠れ、その後建物の外に避難しました。消防士のアドバイスを聞きながら、スムーズに避難する事ができました。また、外では消火器訓練を行ないました。火災や地震などはいつ起こるか分からないため、冷静に行動できるようこれからも定期的に訓練をしていきたいと思えます。地域運営推進会議では他にも行事や認知症のアドバイス等を行っています。次回は12月にクリスマス会を行います。ぜひご参加ください。



利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



第3回

～認知症の高齢者への具体的な接し方～

徘徊 『家に帰りたいけど、道が分からない…』

認知症の高齢者の中には昔を思い出して通勤を試みたり、何かの用事を思い出して外に出かけてしまう事があります。何となく歩いてみたいという理由で出てしまい、家が分からなくなる事もあります。できれば一緒に出かけて、ひとしきり気が晴れたら自宅に帰るとするのが理想ですが、いつもそれができるとは限りません。玄関にベルを付ける等して外に出た事が分かる工夫をしてみましょう。近所の方やいつも行くお店の人に1人で歩いていたら教えてもらうようお願いしておくのもよいでしょう。

人物誤認 『あなたは誰?』

何年も一緒に暮らしているのに、「あなたはどなたですか?」と言われるのはショックだと思います。娘を自分の妻だと思って接する等、他の人と間違える事もあります。そういう時は強く否定せずに、妻になりきって対応した方がよい場合もあります。また、泥棒だとか、恨みを持っている人と間違え興奮する時は、言い争うと話がこじれる事があるので、一回姿を消してから、少し時間を空けて現れてみましょう。少し時間をおき落ち着く事で誰か分かるようになる事もあります。

特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第24回



! 栗ご飯を作るときの皮むきは、一晩水に

栗の皮をむくのは、本当に大変です。爪は傷むし、包丁で切ろうにも不安定で危ないし、という体験は誰でもあるはずです。でも、ちょっとしたコツを知っていれば、もう平気。生の栗はたっぷりの水に一晩漬けておくだけ。急ぐ時は熱湯に10分ほど浸しておくと、ペティナイフで切れ目を入れれば簡単に手でむけます。表の鬼皮をむいたあとも渋皮は、先のとがった部分から下に向かってむくと、きれいにむけます。

! 魚の調理したあとの生臭い手は茶ガラでもみ洗いのする

調理で魚をさわったあとの生臭いにおいは、なかなかとれません。それにはせん茶の茶ガラが効果的。手のひらにせん茶の茶ガラを取り、両手ですり込むようにこすってから水で洗い流します。魚の生臭さはきれいに消えるはず。酢を少量手につけて洗っても同じ効果があります。さっぱりしておすすめです。

*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!? 知らなかった〜! 昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

今年も風邪が流行る季節が近づいてきました。風邪の予防としてうがい・手洗いは当然ですが、十分な栄養をとり適度な運動をすること、睡眠をきちんととることも重要です。他にも室内の温度・湿度を適度に保つこと、タオル等の共有を避けることでも予防効果につながります。今後はさらに寒さが厳しくなりますので風邪を引かないよう予防をしっかり行い、毎日を元気に過ごしていきましょう。

グループホームこんびら・サンライズこんびら広報誌「こんびらだより」第30号

発行元：認知症高齢者グループホーム こんびら 編集者：グループホーム こんびらだより発行部

住所：〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成25年11月1日



支援医療機関・介護保険事業所



永生病院

〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホームこんびら 建物の1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188

グループホームこんびら

Tel 0877-73-0811



サンライズこんびら

(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811

